



令和4年6月16日から19日の間、東京都世田谷区駒沢オリンピック記念公園体育館において、令和4年度「明治杯 全日本選抜レスリング選手権大会」が行われた。本大会は2022年世界選手権代表選考も兼ねており、昨年12月に行われた全日本選手権大会と今大会の優勝者が異なった場合、同日の決勝戦終了後に両優勝者による代表決定プレーオフが行なわれた。

自衛隊体育学校からは高谷大地2等陸尉以下24名が出場し、5階級で優勝、5名が世界選手権代表を勝ち取った。



自分はどのくらいのレベルなのかを確かめられる非常に楽しみな大会。優勝を目指してひたすら練習に励みたい。応援よろしくお願いします。」と抱負を述べた。

フリースタイル 125kg 級に出場した山本泰輝2等陸曹は4連覇をかけて今大会に臨んだ。初戦（準決勝）では試合開始からわずか27秒でテクニカルフォール（規定の得点差による勝利。フリースタイルでは10ポイント差以上。）によって勝利し、圧倒的な強さで決勝進出を決めた。

決勝は二ノ宮寛斗選手（不二精機）との一戦。序盤からお互い一步も引かない攻防戦を繰り返して、なかなかポイントを奪うことができない展開が続いたが、最後まで積極的に攻めに徹した山本2曹がポイント2-1の大接戦を競り勝った。これにより4度目となる世界選手権代表の座を手に入れた。

山本2曹は「今大会では優勝することはできたが、試合内容はよくなかった。世界選手権に向けて一からレスリングを強化し、納得のいく試合ができるようにしたい。」と語った。

大会2日目、フリースタイル74kg級に高谷2尉が出場した。

高谷2尉は初戦（準々決勝）をポイント4-0で勝利すると、続く準決勝もポイント6-0と相手に1ポイントも与えずに決勝へと駒を進めた。迎えた決勝の相手は木下貴輪選手（クリナップ）。試合開始直後から果敢に攻め、3ポイントを先制するも2ポイントを返され接戦となった。しかし最後まで攻めの姿勢を貫いた高谷2尉が試合終了間際にさらに2ポイントを奪い、ポイント5-2で2階級通算2度目の優勝を飾った。高谷2尉は昨年12月に行われた全日本選手権でも優勝しているため、世界選手権の代表に内定した。

試合後、高谷2尉は「多大なサポートのおかげで優勝することができ、感謝している。まだまだ成長していくので、よろしくお願いします。」と優勝後の心境を語り、世界選手権に向けて「華の階級といわれる74kg級でどれだけ戦えるのか、

